令和７年１０月

保護者・地域の皆様へ

令和７年度　全国学力・学習状況調査の結果について

多気町教育委員会
多気町松阪市学校組合教育委員会

令和７年４月１７日に、小学校第６学年及び中学校第３学年を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果の概要について、以下の通りまとめました。

結果の公表については、保護者・地域の皆様に学校教育と家庭教育についてのご理解・ご協力を得ることが何よりも大切であると考え、教科に関する結果、学力の背景となっている児童・生徒質問紙調査から見られた本町の児童・生徒の好ましい傾向と教育課題、そして今後の取組についてお示しさせていただきます。

教科に関する調査結果の概要

教科に関する調査は、小学校では国語・算数の２教科、中学校では国語・数学の２教科で実施され、多気町立小学校第６学年の児童９７名と多気町立及び多気町松阪市学校組合立中学校第３学年の生徒１４４人が参加しました。調査結果については、小学校・中学校とも全ての教科において全国の平均正答率を上回る結果となりました。

以下に、調査結果から「おおむね理解している問題」と「課題がみられた問題」についてまとめました。

【中学校　国語】　◇…比較的できている点　◆…課題のある点　〔 〕内の記号は、問題番号

◇文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができている。
◆文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることに課題がある。

＜おおむね理解している問題＞

◇物語の始めに問いかけが示されていることについて、その効果を説明したものとして適切なものを選択する問題　〔 ３一 〕（正答率：約８割）

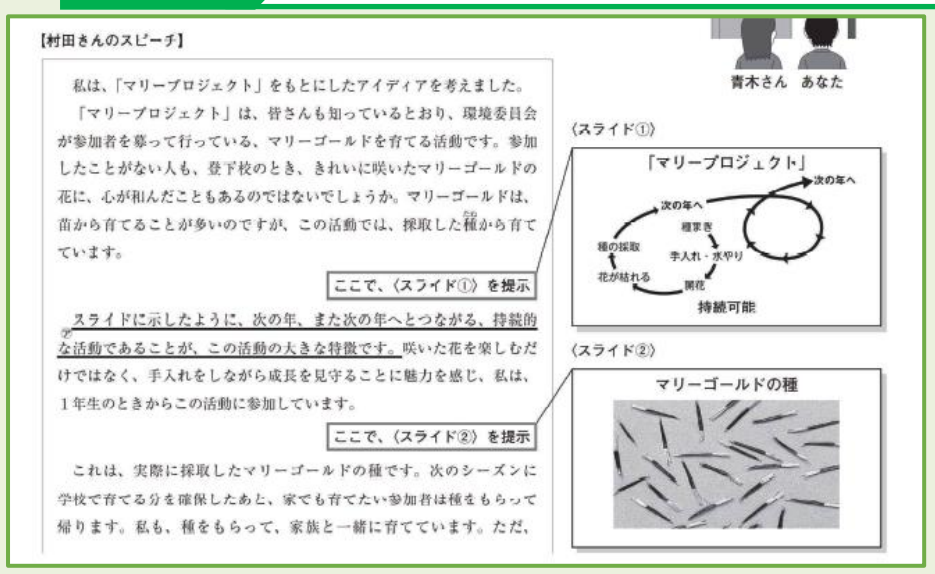
◇「兄」と「弟」が、物語の中でどのような性格の人物として描かれているかを書く問題　〔 ３二 〕（正答率：約９割）

＜課題がみられた問題＞

◆「一　榎木の実」に書かれている場面が、「二　釣の話」には書かれていないことによる効果について、自分の考えとそのように考えた理由を書く問題　〔 ３四 〕（正答率：約２割）

◆スライドを使ってどのように話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する問題　〔 ２一 〕（正答率：約３割）

大問２一　スライドを使ってどのように話しているのかを説明したものとして適切なものを選択する。



問　題

一　村田さんは、【村田さんのスピーチ】の――線部㋐「スライドに示したように、次の年、また次の年へとつながる、持続的な活動であることが、この活動の大きな特徴です。」のように、スライドを使って話しています。このときの村田さんの話し方を説明したものとして最も適切なものを、次の１から４までの中から１つ選びなさい。

1　聞き手の印象に残るように、スライドで意見だけを要約して示しながら、意見とそれを支える根拠を話している。
2　聞き手によって経験が違うことを考慮して、スライドで補足の情報を示しながら、話の要点を絞って話している。
3　聞き手が興味をもつように、スライドで異なる視点からの情報を示しながら、自分の主張を繰り返し話している。
4　聞き手からの質問を想定して、スライドで質問に対する回答を示しながら、自分の立場と考えを話している。

「Ｒ７全国学力学習状況調査中学校国語」より

正答率：34.8%

回答類型		反応率
1	１と解答しているもの	43.0
2	２と解答しているもの	34.8
3	３と解答しているもの	18.8
4	４と解答しているもの	3.5
5	上記以外の回答もの	0
0	無回答	0

課題がみられた問題

誤答例の分析と課題

解答類型【１】の生徒は、【村田さんのスピーチ】の内容を意見と根拠とに整理して捉えることができず、その内容を要約したものがスライドに示されていると誤って捉えたものと考えられます。

また、村田さんが、意見とそれを支える根拠が聞き手の印象に残るように話していると誤って捉えたものとも考えられます。

＜今後の学習の手立て＞　「資料や機器を用いた話し方の工夫を考える学習の機会を大切に」

話し方の工夫をする際には、目的や状況、相手に応じて、話し手の考えが正確に伝わり、聞き手の理解をより深めるようにすることが重要です。伝えたい内容を適切に伝える学習の面では、どのような資料や機器を、どのように用いればよいのかを考える機会を大切にしていきます。また、どのような話し方の工夫がされているかを捉える際には、話の内容、目的や状況、相手に応じて様々な資料や機器を用いた話し方があることを理解した上で、その話し方が聞き手にとってどのような効果があるのかについて考える学習の機会を大切にしていきます。

◇必ず起こる事柄の確率について理解している。
◆ある事柄が成り立つことを構想に基づいて証明することに課題がある。

＜おおむね理解している問題＞

◇Aの手元のカードが３枚とも「グー」、Bの手元のカードが３枚とも「チョキ」でじゃんけんカードゲームの１回目を行うとき、１回目にAが勝つ確率を書く問題　〔７（１）〕（正答率：約８割）

◇Ａ駅からの走行距離と運賃の関係を表すグラフの何を読み取ればＣ駅とＤ駅の間の走行距離が分かるかを選ぶ問題　〔８（１）〕（正答率：約８割）

＜課題がみられた問題＞

◆１から９までの数の中から素数を全て選ぶ問題　〔１（１）〕（正答率：約２割）

◆３ｎと３ｎ＋３の和を２（３ｎ＋１）＋１と表した式から、連続する二つの３の倍数の和がどんな数であるかを説明する問題　〔６（２）〕（正答率：約３割）

大問６（２）

３ｎと３ｎ＋３の和を２（３ｎ＋１）＋１と表した式から、連続する二つの３の倍数の和がどんな数であるかを説明する

課題がみられた問題

問　題

（２）連続する２つの３の倍数の和は、９の倍数になるとは限らないことに気づいた二人は、連続する２つの３の倍数の和がどんな数になるかを調べることにしました。

そこで、二人は、nを整数として、連続する２つの３の倍数を$3n$、$3n+3$と表してそれらの和を計算し、それぞれ次のように式を変形しました。

結菜さんの式の変形

$$3n+(3n+3)$$
$$=3n+3n+3$$
$$=6n+3$$
$$=3(2n+1)$$

太一さんの式の変形

$$3n+(3n+3)$$
$$=3n+3n+3$$
$$=6n+3$$
$$=2(3n+1)+1$$

結菜さんの式の変形の$3(2n+1)$から、「連続する２つの３の倍数の和は、３の倍数である」ことがわかります。

太一さんの式の変形の$2(3n+1)+1$から、連続する２つの３の倍数の和は、どんな数であるといえますか。「～は、……である。」という形で書きなさい。

「R７全国学力学習状況調査　中学校数学」より

誤答例の分析と課題

正答率：27.1 %

（正答の条件）
「○○は、◇◇である。」という形で、次の(a)、(b)について記述しているもの。
(a) ○○が、「連続する２つの３の倍数の和」である。
(b) ◇◇が、「奇数」である。

（正答例）
・連続する２つの３の倍数の和は、奇数である。

回答類型		反応率
①	(a)、(b)について記述しているもの。	12.5
②	(a)についての記述が十分でなく、(b)について記述しているもの。又は、(b)のみを記述しているもの （正答例）・和は、奇数である。 ・奇数である。	1.4
③	(a)について記述し、(b)以外で２（３ｎ＋１）＋１から読み取れる事柄を記述しているもの。	11.8
④	上記３について、(a)についての記述が十分でないもの。又は、(a)についての記述がないもの。	1.4
5	上記１～４以外で、２（３n＋１）＋１から読み取れないが、連続する二つの３の倍数の和について成り立つ事柄を記述しているもの。 （(a)についての記述が十分でないものや、(a)についての記述がないものを含む。）	19.5
6	成り立たない事柄を記述しているもの。（(a)についての記述が十分でないものや、(a)についての記述がないものを含む。）	14.6
99	上記以外の回答	25.0
0	無回答	13.9

誤答例の分析と課題

解答類型【５】の具体的な例としては、以下のようなものがあります。

（例）
・連続する２つの３の倍数の和は、３の倍数である。

このように記述した生徒は、連続する二つの３の倍数の和について、成り立つ事柄を記述しているが、２（３n＋１）＋１から読み取れる事柄を記述することができなかったと考えられます。

＜今後の学習の手立て＞　「式の意味を読み取り、事柄の特徴を数学的に説明できる学習の機会を大切に」

本設問を使って授業を行う際には、
・連続する二つの３の倍数の和がどのような数になるかを、文字式を用いて考察する場面
・連続する二つの３の倍数を３n、３n＋３として和を計算した式である６n＋３がどのような式に変形できるかを考察する場面
・６n＋３を変形してできた３（２n＋１）と２（３n＋１）＋１の式からどのような数になると読み取ることができるかを考察する場面

それぞれ場面において、文字を用いた式の意味を読み取ることや事柄の特徴を数学的に説明する学習の機会を大切にしていきます。

また、その際「連続する２つの３の倍数の和は、奇数の３倍になる。」のように、見いだした事柄を、前提と結論を明確にして表現していく学習の機会も大切にしていきます。

【中学校　理科】　◇…比較的できている点　◆…課題のある点　〔 〕内の記号は、問題番号

◇科学的な探究を通してまとめたものを他者が発表する学習場面において、探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現することができている。
◆水の中の生物を観察する場面において、呼吸を行う生物について問うことで、生命を維持する働きに関する知識が概念として身に付いてていない。

＜おおむね理解している問題＞

◇水道水と精製水に関する２人の発表を見て、探究の過程におけるあなたの振り返りを記述する問題
〔 １（６） 〕（正答率：約９割）

◇「Webページの情報だけを信用して考察してよいか」について判断し、その理由として適切なものをすべて選択する問題
〔 ２（２） 〕（正答率：約９割）

＜課題がみられた問題＞

◆生物１から生物４までの動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択する問題　〔 １（４）〕（正答率：約３割）
◆地層１から地層４までの性質から、水が染み出る場所を判断し、その場所を選択する問題　〔 １（３） 〕（正答率：約４割）

大問１（４）　生物１から生物４までの動画を見て、呼吸を行う生物をすべて選択する問題

（4）
呼吸を行う生物をすべて選びなさい。なお、生物１から４のすべてを選んでもかまいません。

「R７全国学力学習状況調査　中学校理科」より

	回答類型	反応率
1	**生物１、生物２、生物３、生物１・生物２、生物１・生物３、生物２・生物３、生物１・生物２・生物３** と解答しているもの	**53.9**
2	**生物４** と解答しているもの	**0**
3	**生物２・生物４** と解答しているもの	**4.2**
④	**生物１・生物２・生物３・生物４** と解答しているもの	**30.5**
99	上記以外の解答	**11.1**
0	無回答	**0**

正答率：30.5%

誤答例の分析と課題

本設問の正答率は 30.5%でした。観察した水の中の生物が呼吸を行う生物か否かについて、これまで理科で学習したことを活用して、生命を維持する働きと関連付けて説明することに課題が見られます。

解答類型【１】の反応率は 53.9%です。呼吸を行う生物の共通点として「動く生物」と誤って捉えている生徒がいると考えられます。

課題がみられた問題

＜今後の学習の手立て＞　「生命を維持する呼吸の知識をいろいろな生物に活用できるように」

観察した生物の共通点と、生命を維持する呼吸の知識とを関連付けて、生命を維持する働きに関する知識を概念として身に付けることは大切です。指導に当たっては、「呼吸を行う」、「光合成を行う」などの生物の共通点や相違点を挙げ、生命を維持する働きに関する知識をもとに、それらの特徴からいろいろな生物について考察する学習場面を設定する機会を大切にしていきます。

生徒質問紙調査からみられた子どもの姿より

多気町の子どもたち

自分には よいところがある	人が困っている時 進んで助けている	人の役に立つ 人間になりたい	学校に行くのは 楽しい	地域や社会をよくするために 何かしてみたい
94.0%	**98.7%**	**97.8%**	**92.6%**	**90.0%**
（全国 86.2%）	（全国 90.1%）	（全国 96.4%）	（全国 86.1%）	（全国 75.3%）

※子どもたちが生徒質問紙で肯定的に回答した割合が高かった主な設問より

今年度の調査においても、学習習慣・生活習慣ともに肯定的に回答する生徒が多いという結果でした。上記の項目からも多くの子どもたちが安心できる環境の中で学校生活を送っていることがうかがえますし、地域の行事に参加するだけでなく地域のために何かできることはないかを考えている頼もしい姿があることもわかります。日々あたたかく見守り、しっかり支えていただける保護者と地域の方々の力の大きさは本町の強みの一つです。生徒一人ひとりが「自分のことを好きになること・自分に自信を持つこと」は学力向上を支える大きなポイントです。今後も家庭・地域の協力のもと、すべての子どもたちが「学ぶ喜び」「わかる楽しさ」を実感できるよう、本調査の結果を学校の職員全体で共有し、個々の教師が授業の工夫・改善へ、活かしていけるよう取り組みを進めていきます。